

沖縄

2013 春

# 寄付なび

きつと、つなげられる。



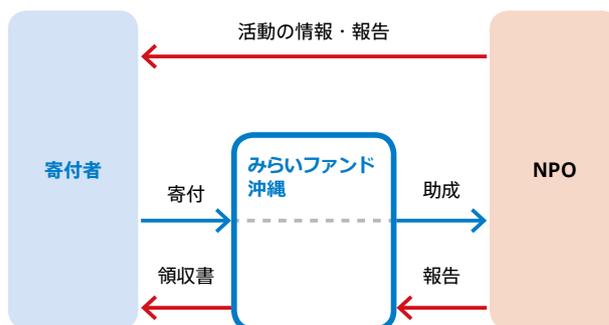
## はじめに

# 沖縄がすこしずつ良くなることを手助けできる 寄付先があります

『寄付なび』は、沖縄のNPOとその事業を紹介する冊子です。この冊子に掲載している事業へ、みらいファンド沖縄を通じて寄付することで、そのNPOを支援することができます。いずれもみらいファンド沖縄が設置する助成等選考委員会によって、厳正な選考を行った上で採択された事業で、いただいた寄付金をきちんと社会に役立てることができる団体です。

この冊子で紹介しているNPOとその活動に、あなたが共感できるものがあれば、ぜひ寄付で応援してください。沖縄がもっと住み良いところになってほしい、というあなたの気持ちをNPOが実践します。

みらいファンド沖縄は公益財団法人です。公益財団法人の税制優遇のメリットを活用して、NPOの寄付募集活動を支援しています。



●ここで言うNPOとは、特定非営利活動法人(NPO法人)のみならず、任意団体や社団・財団法人を含む広義のNPOのことです。

## 寄付控除の 説明

# 公益財団法人への寄付は、税制優遇が受けられます。

いずれの手続きも、みらいファンド沖縄が発行する領収証が必要となりますので、手続きをしようとする方は、「寄付申込み」を行ってください。

### 個人の方

確定申告の際、寄付をしたことを申告すると、寄付金控除を受けることができます。

#### 所得税

所得控除方式または税額控除方式が選択できますが、税額控除方式をお勧めします。

#### 税額控除方式

$(1 \text{ 年間の寄付額} - 2,000 \text{ 円}) \times 40\%$   
が所得税の額から差し引かれます

#### 住民税

下記の金額が住民税から差し引かれます。

#### 沖縄県民

$(1 \text{ 年間の寄付額} - 2,000 \text{ 円}) \times 4\%$

#### 下記の市町村 の住民

$(1 \text{ 年間の寄付額} - 2,000 \text{ 円}) \times 6\%$

\* 下記の市町村の方は、条例でみらいファンド沖縄への寄付が税制優遇の対象となります。  
西原町、与那国町、北中城村、中城村(2012年1月調べ)

### 法人の方

#### 損金算入

特別損金算入額も合わせた額まで適用されます。

#### 一般損金算入 限度額

$\frac{\text{資本金の額の} 0.25\% + \text{所得金額の} 2.5\%}{4}$

#### 特別損金算入 限度額

$\frac{\text{資本金の額の} 0.375\% + \text{所得金額の} 6.25\%}{2}$

### 相続税

相続財産の寄付は「非課税財産」となります。

● 相続税の申告期限までの寄付が対象となります。

いずれの税制優遇も、上限額の計算等があります。詳しくは、みらいファンド沖縄までお問合せいただくか、お近くの税務署や税理士にご相談ください。

寄付受付期間  
通年

## テーマ型基金

世界中のウチナンチュをつなぐ若者たちの活動を支援  
**世界若者ウチナンチュ大会  
支援基金**

助成先：世界若者ウチナンチュ連合会 沖縄本部



沖縄の子どもを守ることは、沖縄の未来を守ること  
**沖縄まちと子ども基金**

助成先：公募（沖縄の子どもへの貧困・孤立の解決に取り組むNPO・研究者）



寄付受付期間  
2013年3月1日～2014年2月28日

## 寄付と助成のプログラムの第四期たくす

親子の不安と精神的疲労の軽減のため保育士によるケアを  
**遠隔地病児の  
きょうだい預かり保育事業**

助成先：特定非営利活動法人こども医療支援わらびの会



入寮者が社会復帰に専念できるリハビリ環境の維持に支援を  
**依存症からの  
リカバリングスタッフ 育成事業**

助成先：沖縄ダルクリハビリテーションセンター



音楽の素晴らしさを多くの子どもたちに届けよう！  
**へき地校を巡る  
プロオーケストラコンサート事業**

助成先：一般社団法人琉球フィルハーモニー管弦楽団



演劇を通じて「学び」を得た学生が、沖縄の未来を担う！  
**沖縄の学生がつくる  
人権劇開催プロジェクト**

助成先：特定非営利活動法人HIV人権ネットワーク沖縄



寄付受付期間  
2012年9月1日～2013年8月31日

## 寄付と助成のプログラムの第三期ぱくと

乳がんと闘う女性たちを支える活動に支援を  
**乳がん患者が元気に闘うための  
環境づくり事業**

助成先：NPO 乳がん患者の会びんく・ぼんさあ



被災地の子どもたちを沖縄に招待しよう  
**こどもの島  
沖縄東北交流体験プロジェクト**

助成先：NPO こどもの島プロジェクト



子どもへの暴力防止ワークショップを寄贈できる  
**子どもを暴力から守るための  
「CAPプログラム」開催事業**

助成先：特定非営利活動法人おきなわCAPセンター



寄付受付期間  
通年

## じぶん基金

講師派遣を通じて、離島の子どもたちの成長を支援  
**沖縄離島バドミントン基金**

助成先：沖縄離島バドミントンスクール実行委員会



### ■ テーマ型基金

沖縄特有の、あるいは優先的に取り組みが必要と思われる社会的課題（テーマ）毎に設置する基金です。寄せられた寄付から、その課題の解決にあたらうとするNPOに対し助成を行っていきます。

### ■ 寄付と助成のプログラム

NPOの寄付募集活動の支援プログラムです。NPOは取り組んでいる社会的課題を自ら社会にPRし、事業に必要な寄付を募ります。みらいファンド沖縄は、税制優遇制度を活用し寄付募集活動を支援します。

### ■ じぶん基金

「生活する個人」が持つ専門性から気付ける、身近な社会的課題もあります。「じぶん基金」は、そんな「気付いた個人」を支えながら基金づくりをし、課題解決のチャレンジを応援していくプログラムです。



第1回世界若者ウチナンチュ大会 in ブラジル

このページの事業の寄付は常時受け付けております

世界中のウチナンチュをつなぐ若者たちの活動を支援

# 世界若者ウチナンチュ大会 支援基金

助成先：世界若者ウチナンチュ連合会 沖縄本部

## 新しい世代が「世界」と 「祖先」をつなぐ

沖縄では、世界中へ移民として旅立っていったウチナンチュたちが、自身のルーツである沖縄を体験する機会として、「世界のウチナンチュ大会」を5年毎に開催しており、毎回、数千人が沖縄への「帰郷」を果たします。しかし、海外への移民がはじまって100年を超えるようになった現在、そのアイデンティティや文化が失われつつあることが懸念されています。

そんな中、20代の若者を中心に「世界若者ウチナンチュ連合会」が結成され、世界中の若いウチナンチュたちのネットワーク形成が始まりました。次回の世界のウチナンチュ大会までの5年間、毎年「世界若者ウチナンチュ大会」を世界各地で開催することを計画しています。

沖繩の次代を担う若者たちのこの自発的な取組みを支援したいと考える方たちから、基金の設置提案と寄付をいただき、「世界若者ウチナンチュ大会支援基金」を設置いたしました。この基金へいただいた寄付は、毎年開催が計画されている「世界若者ウチナンチュ大会」の開催費用として「世界若者ウチナンチュ連合会」へ助成金として交付いたします。

沖繩の文化や、生まれ育った故郷の言葉の大切さを、海外に出て初めて知ることができました。沖繩のことわざで「生まり島ぬ言葉忘れぬ 郷ん忘ゆん」という言葉があります。故郷の言葉を忘れてしまうと、その故郷自体を忘れてしまうという意味です。沖繩の歴史、文化、言葉を通して、今度は私たちが沖繩から、世界からゆいまるの気持ちを届けていきたいと思います。

## スタッフの声

玉元 三奈美さん

世界若者ウチナンチュ連合会  
沖縄本部 事務局長

沖繩の文化や、生まれ育った故郷の言葉の大切さを、海外に出て初めて知ることができました。沖繩のことわざで「生まり島ぬ言葉忘れぬ 郷ん忘ゆん」という言葉があります。故郷の言葉を忘れてしまうと、その故郷自体を忘れてしまうという意味です。沖繩の歴史、文化、言葉を通して、今度は私たちが沖繩から、世界からゆいまるの気持ちを届けていきたいと思います。

## 第1回大会がブラジルで開催！

2012年7月25～29日の5日間、サンパウロ市に、アルゼンチン、ペルー、アメリカなど世界7カ国から約150人の県系人が集いました。伝統芸能披露や移民史の映像を見るフィルムフェスティバルなどの文化交流をはじめ、県系人経営の企業への訪問など、さまざまなプログラムを実施。互いのアイデンティティを確認しあい、世界中のウチナンチュとのネットワークを新たに築きました。

## ブラジル大会に助成しました

ブラジル大会開催前後に集まった寄付金から、合計341,006円の助成を行うことができました。ご寄付くださいましたみなさま、ありがとうございました！



出発当日の助成金交付式の様子

## 世界若者ウチナンチュ大会



## 世界若者ウチナンチュ大会支援基金

助成先：世界若者ウチナンチュ連合会 沖縄本部

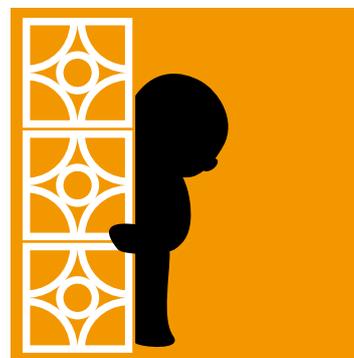
### 寄付受付情報

専用口座	沖縄銀行 鳥堀支店 普通 1387898
	琉球銀行 首里支店 普通 580429

郵便振替	01780-6-149204
	【通信欄への必記事項】若者ウチナンチュ大会

## Check!!

公益財団法人みらいファンド沖縄を通じてこの事業にいただいた寄付は、**税制優遇(寄附金控除/損金算入)の対象**となります  
\*領収証が必要な方は、みらいファンド沖縄まであらかじめ「寄付申込み」を行い、領収証発行に必要な事項をお知らせください。  
\*各寄付受付口座の名義はすべて「公益財団法人みらいファンド沖縄(代表理事 小阪直)」となります。



沖縄の子どもを守ることは、沖縄の未来を守ること

## 沖縄まちと子ども基金

助成先：公募（沖縄の子どもの貧困・孤立の解決に取り組むNPO・研究者）

### リスクに晒されている子どもたち

日本全体が人口減少社会へと突入している中、沖縄では比較的高い出生率を維持しています。しかし、多くの統計的数値が、子どもが貧困や孤立のリスクに晒されていることを予測させます。離婚件数、生活保護受給率、米軍基地面積、就学援助制度認定者数、若年出産率などで、深刻な結果が示されています。

事実、進学を断念する子、虐待を受ける子、衣食住さえ保障されない状況にある子などが、ここ沖縄に多くいるのです。

### 貧困は連鎖する

親の貧困は、子どもの孤立を招きます。

ネグレクト（育児放棄）や暴力、親の夜間・長時間就労は、子どもが家庭で孤立し、不規則な食事や睡眠に繋がります。家庭での孤立は、コミュニケーション能力に影響し、やがて社会からの孤立に至り、子どもの未来を剥奪していきます。進学、就労、結婚、出産などにおける、多種多様な選択肢という希望が、その子自身が対処しようなない親の貧困によって消えていくのです。

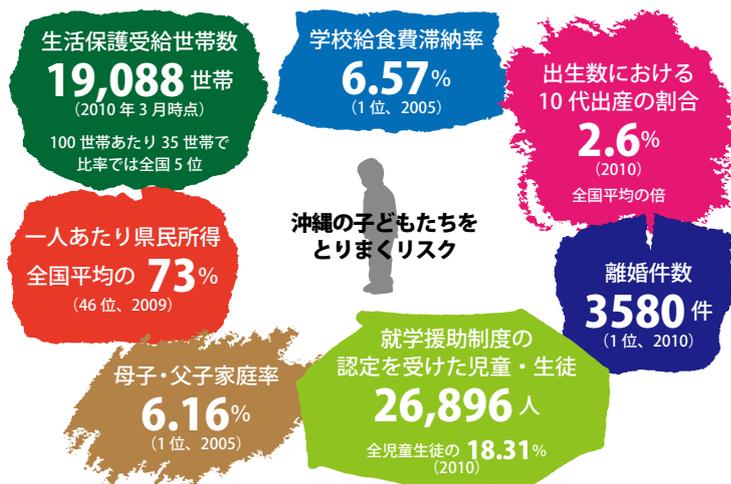
学校中退、不本意な妊娠・結婚、

不安定就労などがその子自身の貧困を招き、さらにはその子どももまた、負の連鎖に繋がっていく傾向もあります。

### 子どもたちと沖縄の未来を拓く

沖縄の子どもたちを守ることは、沖縄の未来を守ることです。だれもが生き生きと働き、心休まる家庭で暮らせる社会になれば、生産性が向上し、税による社会保障負担も減ります。

この「沖縄まちと子ども基金」は、子どもたちを地域（まち）が支えていける環境づくりをめざし、課題の解決をめざす事業・調査を行うNPOに対し助成するため、設置いたしました。



### 基金設置の経緯

この基金は、平成23～24年度沖縄県「新しい公共支援事業」の一環として開催された「沖縄県域市民活動支援基金設立準備委員会」での議論を踏まえ、2012年12月設置いたしました。

### 沖縄まちと子ども基金

助成先：公募（沖縄の子どもの貧困・孤立の解決に取り組むNPO・研究者）

#### 寄付受付情報

専用口座 沖縄銀行 鳥堀支店 普通 1396468  
琉球銀行 首里支店 普通 592434

郵便振替 01780-6-149204  
【通信欄への必記事項】まちと子ども

### Check!!

公益財団法人みらいファンド沖縄を通じてこの事業にいただいた寄付は、**税制優遇（寄附金控除／損金算入）の対象**となります  
\*領収証が必要な方は、みらいファンド沖縄まであらかじめ「寄付申込み」を行い、領収証発行に必要な事項をお知らせください。  
\*各寄付受付口座の名義はすべて「公益財団法人みらいファンド沖縄（代表理事 小阪匡）」となります。



子どもたちのため、がじゅまるの家に盲導犬が来たときのようす(2010年8月)

親子の不安と精神的疲労の軽減のため保育士によるケアを

## 遠隔地病児の きょうだい預かり保育事業

助成先：特定非営利活動法人子ども医療支援わらびの会

### 「がじゅまるの家」

南風原町にある「がじゅまるの家」は、沖縄県立南部医療センター・子ども医療センターのすぐ近くにある、入院する子どもの家族が宿泊できる施設です。重い病気になった子どもの多くがこの病院を頼りますが、沖縄は島嶼県のため、家族が自宅から毎日通うのは困難な場合もあります。がじゅまるの家はそんな家族を、2008年6月の開所から2011年11月までの約3年間で、延べ15,700

人も受け入れてきました。

### 病気をもつ子どもの 「きょうだい」

がじゅまるの家には、病気になった子どものきょうだいも宿泊することが少なくありません。核家族化が進む現代社会では、病児のきょうだいを預かれる祖父母や親戚が近くにおらず、親は健康なきょうだいを連れて看病にあたるしかない、といったケースがあるからです。

看病をする親は、きょうだいのことが気がかりながらも、病児の看病をせざるを得ません。親には安心して看病にあたってほしい、また、きょうだいだって子どもらしくのびのび過ごしてほしい。がじゅ

まるの家を運営するNPO法人子ども医療支援わらびの会のスタッフはみんな、そう願ってやみません。

### 家族が長期入院を 乗り越えられるように

わらびの会では、入院する子どものきょうだいをきちんと預かれる保育体制を組みたいと、寄付を募っています。お寄せいただいた寄付は、保育士の雇用のために使われ、自宅を離れ経済的負担を抱える家族を支えることに役立てられます。

病児のきょうだいや、妊娠・出産に高いリスクを抱える妊婦の子が、がじゅまるの家で安心してのびのびと過ごせるよう、どうぞご支援ください。

### スタッフからのメッセージ

#### 谷口 曜子さん

ハウスマネージャー

ハウスできょうだいは預かることができないと親に説明することが辛かったのですが、保育が実現すればスタッフも共に見守ることができます。きょうだい達にとって病院に付いて行くことは、面会室での退屈な思いと風邪等に感染する不安もあります。ハウスにすることで安全で落ち着いて親の帰りを待つことができ、親子の精神的な安定が得られると思います。保育支援をサポートして頂いた企業は間接的に未来の人材育成になっていると思います。



プレイルームで遊ぶ病児のきょうだいたち

寄付目標金額

554,300円

5,000円 で、保育士に1日(6時間)預かり保育をお願いすることができます

50,000円 で、保育士による預かり保育が1ヵ月間実施できます

寄付受付情報

### 遠隔地病児のきょうだい預かり保育事業

助成先：特定非営利活動法人子ども医療支援わらびの会

専用口座 沖縄銀行 鳥堀支店 普通 1391156  
琉球銀行 首里支店 普通 584370

郵便振替 01780-6-149204  
【通信欄への必記事項】きょうだい

Check!!

公益財団法人みらいファンド沖縄を通じてこの事業にいただいた寄付は、**税制優遇(寄附金控除/損金算入)の対象**となります

\*領収証の必要な方は、みらいファンド沖縄まであらかじめ「寄付申込み」を行い、領収証発行に必要な事項をお知らせください。

\*各寄付受付口座の名義はすべて「公益財団法人みらいファンド沖縄(代表理事 小阪直)」となります。



「第1回せいめい祭」でのエイサー公演の様子

入寮者が社会復帰に専念できるリハビリ環境の維持に支援を

## 依存症からの リカバリングスタッフ育成事業

助成先：沖縄ダルクリハビリテーションセンター

### 依存症は増加傾向

全国的に増加傾向にある、アルコールや薬物の依存症。沖縄県も例外ではありません。依存症になるその理由はさまざまですが、近年それに拍車をかけているのは、薬物の売人の増加や、新種のドラッグの流通だと、沖縄ダルクリハビリテーションセンターのスタッフは言います。

### エイサーを取り入れたリハビリプログラムも

沖縄ダルクリハビリテーションセンターでは、依存症になってしまった人を入寮者として受け入れ、一連のプログラムを通じて社会復帰するまでを支えています。そのスタッフの多くは当事者だからこそ、親身なケアが実現しています。

また、沖縄ダルク入寮者の4割が社会復帰しており、全国60カ所のダルクの平均である3割よりも高い成果を挙げています。それは、リハビリプログラムにエイサーを取り入れたことで、入寮者が目

標や生き甲斐を持つことができ、またエイサーの演舞を観てもらうことで社会との繋がりを感じるられるからなのだそうです。

最近では、相談件数が増加していることもあり、危機を察知した家族が相互に学びあえる「家族教室」を月1回開催し、潜在者の回復と予防にも努めています。

### ケアの行き届いたリハビリができるように

入寮者や相談件数の増加のため、沖縄ダルクではスタッフ不足を感じています。しかし、依存症のリハビリを支えるリカバリングスタッフには、経験と知識が必要となります。また、新しく発生している事例・症例などを学ぶ必要にも迫られており、入寮費の収入だけでは運営は困難です。

ひとりでも多くの人が社会復帰できるよう、沖縄ダルクの活動を支える寄付をお願いいたします。

### 支援者の声

#### 名嘉ちえりさん

更生保護法人がじゅまる沖縄 DV加害者更生相談室研究員

私が沖縄ダルクを支援するようになってから約8年になりますが、その間彼らは、依存症者へのケアや関係機関との連携、若年層への予防啓発活動だけではなく、家族等に対するサポートや関連分野の問題（自殺予防等）、ソーシャルビジネス等にも取り組み始め、活動の幅を少しずつ広げてきています。今では、私が行う一般県民や関係機関・中高校生・犯罪経験者等を対象とした様々な講座（DV・虐待・犯罪防止等。毎月数回開催）の運営スタッフや講師等も務めるようになり、私の最も信頼し頼りになるパートナーとして、社会に大きく貢献しています。



嘉手納高等学校の生徒さんに向けての講演

寄付目標金額

5,244,000円

50,000円 で、スタッフ1名が県外でのスキルアップ研修に参加できます

140,000円 で、依存症の当事者をスタッフとして1ヵ月雇用することができます

寄付受付情報

### 依存症からのリカバリングスタッフ育成事業

助成先：沖縄ダルクリハビリテーションセンター

専用口座 沖縄銀行 鳥堀支店 普通 1391112  
琉球銀行 首里支店 普通 584363

郵便振替 01780-6-149204  
【通信欄への必記事項】依存症リカバリング

Check!!

公益財団法人みらいファンド沖縄を通じてこの事業にいただいた寄付は、**税制優遇(寄附金控除/損金算入)の対象**となります

\*領収証の必要な方は、みらいファンド沖縄まであらかじめ「寄付申込み」を行い、領収証発行に必要な事項をお知らせください。

\*各寄付受付口座の名義はすべて「公益財団法人みらいファンド沖縄（代表理事 小坂直）」となります。



指揮に挑戦する生徒

音楽の素晴らしさを多くの子どもたちに届けよう！

## へき地校を巡る プロオーケストラコンサート事業

助成先：一般社団法人琉球フィルハーモニー管弦楽団

### 沖縄全県でのオーケストラ 公演活動の経験を活かして

琉球フィルハーモニー管弦楽団では2009年の設立以来、これまでに本島や離島の約18,000名の生徒へ、プロの演奏家で編成されるオーケストラの演奏を届けてきました。子どもたちの笑顔に接すると、充実感と演奏活動の大切さを改めて実感し、演奏者のモチベーションが高くなるそうです。

### 音楽の感動を共有する機会 が極端に少ないへき地校の 生徒たち

放送やCD、インターネットの普及で、音楽を聴いたり、演奏する姿を見たりする機会は、一昔前に

比べてとても充実していますが、プロの生演奏を目の前で体験することはなかなかないものです。特に沖縄の離島などの子どもたちは、その機会を得ることが難しいのが現状です。

現在、沖縄県内で全校生徒が10名以下の小中学校は、3市2町6村で計27校（小学校16、中学校11）もあります。これらの学校では、地理的にも、学校予算的にも、音楽体験を実施するのは難しいと言わざるを得ないでしょう。

### 豊かな人間性を育む音楽鑑賞

この事業へいただく寄付は、琉球フィルハーモニー管弦楽団がへき地校を訪問し、子どもたちがオーケストラの指揮や楽器演奏を

体験するプログラムを含むオーケストラ演奏会の開催費に充てられます。音楽鑑賞を通して子どもたちの情操を育むことはもちろん、学校周辺の地域の大人も一緒に音楽を楽しめる場を提供していかとも考えています。

音楽の素晴らしさを一人でも多くの子供たちに届けられよう、ぜひご支援ください。

### 子どもたちの心に響くコンサートを

上原 玲子さん

琉球フィルハーモニー管弦楽団

理事/ピアニスト



「僕たちは、プロの奏でる音楽にふれる機会が少ないです」と話す子ども達が目を輝かせ、身を乗り出して聴いてくれた経験が、私にはあります。時には、出演者の人数よりも少ない生徒たちが、聴いたことのある音楽が目の前の楽器により奏でられる驚きを表現する、その素直さに感動しました。

プロの音楽家になりたいと思ったきっかけを、「学校で聴いたオーケストラのコンサート」という人が多くいます。

それが、沖縄県出身者が多数の、琉球フィルのコンサートであったなら、子どもたちの夢も、遠いものではなくなるのでは、と思うのです。



学校での演奏会のようす

寄付目標金額

1,775,000円

50,000円 で、本島内でデュオ(ピアノ & ヴァイオリン)演奏ができます  
300,000円 で、離島で弦楽四重奏公演が2回できます

寄付受付情報

### へき地校を巡るプロオーケストラコンサート事業

助成先：一般社団法人琉球フィルハーモニー管弦楽団

専用口座 沖縄銀行 鳥堀支店 普通 1397529  
琉球銀行 首里支店 普通 594194

郵便振替 01780-6-149204  
【通信欄への必記事項】プロオケ

Check!!

公益財団法人みらいファンド沖縄を通じてこの事業にいただいた寄付は、**税制優遇(寄附金控除/損金算入)の対象**となります  
\*領収証が必要な方は、みらいファンド沖縄まであらかじめ「寄付申込み」を行い、領収証発行に必要な事項をお知らせください。  
\*各寄付受付口座の名義はすべて「公益財団法人みらいファンド沖縄(代表理事 小阪直)」となります。



演劇を通じて「学び」を得た学生が、沖縄の未来を担う！

## 沖縄の学生がつくる 人権劇開催プロジェクト

助成先：特定非営利活動法人HIV人権ネットワーク沖縄

### HIV/AIDSの社会的課題は、 差別・偏見へ

沖縄県はHIV感染者・患者数が人口比で全国3位であり、厚生労働省より重点都道府県地域に指定されています。感染の拡がりを抑えるためには、人権意識を広め陽性者や患者が生きやすい社会をつくるのが最も重要です。そのため戦略として効果的なのが、若者への啓発です。10代のうちにこの問題に関心を持てば、その後も自分自身を、そして他者をも大切に思う大人になるのではないのでしょうか。

### 若者発！人権啓発メッセージ

HIV人権ネットワーク沖縄では、夜間電話相談や街頭検査などの予防活動を行う他、2003年から毎年『人権フォーラム』を開催し、差別・偏見をなくす活動にも力を入れています。

フォーラムでは、HIV・エイズの問題をはじめ、ハンセン病や同性愛、性同一性障害にも焦点を当

て、人権を尊重する社会や個人のあり方に言及しています。歌や演劇を通じて若者から発せられる社会へのメッセージは、これまで多くの成果を産んできました。

### 人権劇を通じた人権啓発の普及

沖縄県内はもちろん全国からも招かれる、このフォーラムを継続することが大切だと、この団体では考えています。

演劇作品をみんなで作り上げることを通じ、大切なことを学んだ学生たちがその成果を発表できる

よう、また多くの人々の人権啓発に貢献できるよう、どうぞご支援ください！

#### 寄付者からのメッセージ

##### 匿名(会社員)

感動しました。是非、すべての人に見て欲しい劇です。子ども達や、青少年たちが頑張っている姿が良かったです。今日来て良かったです。

##### 匿名(教員)

学校とは違う、子ども達の輝く姿が素晴らしい。この演劇に参加した生徒の表情がとても明るくなり、笑うことが多くなり、ここまで変容した生徒を見るのがとても嬉しく思います。少しでも力添えになればと思います。



人権劇のフィナーレのようす

寄付目標金額

414,000円

100,000円 で、子ども・若者40人が参加する人権学習会を1年間継続できます  
200,000円 で、フォーラムが開催でき、多くの県民を啓発できます

寄付受付情報

#### 沖縄の学生がつくる人権劇開催プロジェクト

助成先：特定非営利活動法人HIV人権ネットワーク沖縄

専用口座 沖縄銀行 鳥堀支店 普通 1397530  
琉球銀行 首里支店 普通 594187

郵便振替 01780-6-149204  
【通信欄への必記事項】人権劇

Check!!

公益財団法人みらいファンド沖縄を通じてこの事業にいただいた寄付は、**税制優遇(寄附金控除/損金算入)の対象**となります

\*領収証の必要な方は、みらいファンド沖縄まであらかじめ「寄付申込み」を行い、領収証発行に必要な事項をお知らせください。

\*各寄付受付口座の名義はすべて「公益財団法人みらいファンド沖縄(代表理事 小坂巨)」となります。



ピアサポートサロン びんく・ばんさぁリボンズハウスのようす

乳がんと闘う女性たちを支える活動に支援を

## 乳がん患者が元気に闘うための環境づくり事業

助成先：NPO乳がん患者の会 びんく・ばんさぁ

### 増え続ける乳がん

日本では16人に1人の女性が乳がんにかかるといわれ、沖縄県内でも年間700人を超える女性が乳がんの告知を受けています。治療も長期に渡るケースが多く、患者本人とその家族にもさまざまな負担がかかるため、情報提供や精神的サポートが必要とされています。しかし、乳がんは女性特有の病気であることや、間違った認識からの偏見があり、周りの人に打ち明けられず一人で悩んでいる女性は少なくありません。

### びんく・ばんさぁ リボンズハウス

浦添市に開設している「びんく・ばんさぁ リボンズハウス」は、沖縄県内すべての乳がん患者のためのピアサポートサロンです。患者同士が治療法などについて情報交換をしたり、抗がん剤の副作用との付き合い方や再発防止のための講座を受けることができるこのサロンに、昨年は約500名の女性

が訪れました。医療機関とは違った角度からのサポートが受けられるこのサロンの魅力は、ここに行けばいつでも体験者の声が聞ける「心の拠りどころ」であること。患者同士が集まることで、「仲間がいる心強さ」「乳がんと闘う前向きな気持ち」が持てると喜ばれています。さらに、乳がんに関する認知を高める活動も行っており、特に、検診の大切さを知ってもらい、それによる早期発見を促していきたいそうです。

### 全ての女性が元気に乳がんと闘うために

このサロンの運営継続のため、びんく・ばんさぁでは支援を求めています。乳がん治療は長期間となるため、患者がいつでも安心して相談に訪れることのできる場所が求められています。全ての女性が元気に乳がんと闘うことをサポートするこの事業を、どうぞご支援ください。

### 支援者の声

#### 宮良 球一郎さん

宮良クリニック 院長

米国では2030年に乳がん患者発生をゼロにという目的で、米国乳がん患者会が寄付を集め、乳がん研究施設へ多額の寄付を行っています。

正しい知識を得、正しく行動するがんサバイバーの活動はこれからの乳がん患者さんに夢を与えてくれます。「びんく・ばんさぁ」は患者さんの視点から病院という狭い枠を取り外し、患者さんの患者さんによる患者さんのために日々活動しており、医療者として少しでもサポートしていければと思っています。

### サロン利用者の声

#### R子さん

治療中、気持ちが落ち込んでいるときに家族にすすめられて「びんく・ばんさぁ リボンズハウス」に行ってみました。同じ患者同士ということで体験談を通して分かり合える部分も多くあり、とても励まされました。また、ほしい情報や講座等がありとても心強い存在で、私を元気にしてくれる場所です。このような場があることをとても嬉しく思います。

寄付目標金額

1,380,000円

115,000円 で、リボンズハウスを1ヵ月運営できます

寄付受付情報

### 乳がん患者が元気に闘うための環境づくり事業

助成先：NPO乳がん患者の会 びんく・ばんさぁ

専用口座 沖縄銀行 鳥堀支店 普通 1394699  
琉球銀行 首里支店 普通 590041

郵便振替 01780-6-149204  
【通信欄への必記事項】乳がんと闘う

Check!!

公益財団法人みらいファンド沖縄を通じてこの事業にいただいた寄付は、**税制優遇(寄附金控除/損金算入)の対象**となります

\*領収証の必要な方は、みらいファンド沖縄まであらかじめ「寄付申込み」を行い、領収証発行に必要な事項をお知らせください。

\*各寄付受付口座の名義はすべて「公益財団法人みらいファンド沖縄(代表理事 小阪直)」となります。

被災地の子どもたちを沖縄に招待しよう

## こどもの島沖縄東北交流体験プロジェクト

助成先：NPO こどもの島プロジェクト



2年振りに「海」を眺める宮城県から来た子供たち

### 被災地の子どもたちを沖縄に招待

東日本大震災による原発事故で、放射能の影響のあり得る地域で暮らす子ども・保護者・教育関係者は、心身ともに疲れきっている方もいます。

沖縄市を中心に子ども関連の活動をしている団体が呼びかけあって実施する「こどもの島沖縄東北交流体験プロジェクト」では、被災地の学童保育所などの子どもたちを沖縄に招待し、沖縄の文化・自然体験などを通じて、心身を癒してもらおうと共に、沖縄市の子どもたちや地域住民との交流の機会を設けています。今年2012年の夏に2回実施し、計30名の子どもとその関係者を招待しました。

### 「震災を他人事にしない関係性を築きたい」

招待しているのは、福島県いわき市と、福島県との県境に位置するため支援が届きにくい宮城県丸森町の子どもたち。それには理由

があります。

こどもの島プロジェクトのメンバーは、被災地で復興支援に携わった経験から、顔の見える関係を築くことで生まれる「絆」が必要だと感じたと言います。震災を遠くの他人事ではなく、自分がよく知る「あの子・あの人」に関わる出来事として認識する。それが継続的な支援に繋がるのでは、という思いから、メンバーとの繋がりのあったこれらの地域から招待することになったそうです。

### 小さな心の交流を10年続けるために

こどもの島プロジェクトでは、この活動を10年継続したいと考えています。沖縄の豊かな自然とゆいまーるの精神をもってこそそ

### 招待された人たちの声

#### 鈴木玉江さん

いわき市久之浜児童クラブ指導員

ご招待していただき心より感謝申し上げます。皆様のおかげで夏休みの楽しい思い出を沢山作ることが出来ました。作文に書いた子も多くいます。

海に行って2年ぶりに泳ぐことができたこと、台風のすごさを目の当たりにしたこと、沖縄のドラゴンフルーツが美味しかったこと、別れが辛かったこと、沖縄に大きくなったら住むとっていた子、飛行機が飛ばなければもっと沖縄にいれるのね！ などなど…。皆さんありがとうございました。

れが可能です。被災地支援に留まらない、新しい関係性を育もうというこの活動のため、子どもたちを招待する費用と、交流イベントの開催費用を、どうぞ寄付で支えてください。



嘉手納町民の家での、地域住民との交流会の様子

寄付目標金額

575,000円

115,000円 で、東北の親子1組が沖縄に来て一週間滞在できます

寄付受付情報

### こどもの島沖縄東北交流体験プロジェクト

助成先：NPO こどもの島プロジェクト

専用口座 沖縄銀行 鳥堀支店 普通 1394702  
琉球銀行 首里支店 普通 590058

郵便振替 01780-6-149204  
【通信欄への必記事項】 こどもの島

Check!!

公益財団法人みらいファンド沖縄を通じてこの事業にいただいた寄付は、**税制優遇(寄附金控除/損金算入)の対象**となります

\*領収証の必要な方は、みらいファンド沖縄まであらかじめ「寄付申込み」を行い、領収証発行に必要な事項をお知らせください。

\*各寄付受付口座の名義はすべて「公益財団法人みらいファンド沖縄(代表理事 小坂直)」となります。



就学前ワークショップの様子

子どもへの暴力防止ワークショップを寄贈できる

## 子どもを暴力から守るための「CAPプログラム」開催事業

助成先：NPO法人おきなわCAPセンター

### 傷ついた子どもを、さらに責めていませんか？

沖縄は、出生率も他県に比べて高く「子宝の島」と言われています。しかし、子どもたちにとって危険の少ないところとは決して言えません。いじめ、児童虐待、集団暴行、米軍基地から派生する暴力……子どもたちの周囲には、さまざまな形の暴力が存在します。

万が一、子どもが被害にあいそうになったとき、自分を守るのは子ども自身です。子どもが身を守る手段を知る事は、とても大切です。

さらに、子どもが暴力の被害にあった後、大人たちの反応がさらに心を傷つけてしまうこともあります。「危険なところに行ったのが悪い」「どうして逃げなかった？」などの言葉で、子どもが自分を責めるようになり、回復力も失われ、大人への相談もできなくなるそうです。

### 子どもが自分自身を守れるように

CAPプログラムは、子どもに直接人権について伝え、暴力回避の方法を教え、相談する大切さを共に学ぶワークショップです。おきなわCAPセンターは、2011年に15周年を迎え、CAPプログラム実施回数は2000回を超えます。

また、大人向けのワークショップもあり、子どもを暴力から守る知識、暴力を受けた子どもを支える方法などを知る事ができます。

### 沖縄のすべての子どもたちにCAPプログラムを

年間約200回のプログラムを実施するおきなわCAPセンターですが、それでもまだ沖縄のすべての子どもたちのところには届いていません。問題が起きたときに、このプログラムを受けていれば、勇気を出せると思います。

まだCAPプログラムを実施したことのない学校・地域へ、体験ワークショップを、あなたの寄付でプレゼントしてみませんか？

### 支援者の声

#### 竹沢昌子さん

名城大学 准教授

子どもの年齢に応じたプログラムで、わかりやすい言葉で人権について説明され「暴力」をテーマにしながらも怖がらせることなく楽しく学べる内容になっているのがよく出来ていると思います。「～してはいけない」という行動の規制をする防止方法ではなく「～してもいいよ」と選択肢を広げ、子どもが持っている力を使って身を守るCAPの方法は、誰にでも使えるし、今日からでもできることで、子どもに勇気と自信を与えます。何より楽しく学べるというのがいいですね。



大人ワークショップの様子

寄付目標金額

230,000円

23,000円 で、子どもへの暴力防止ワークショップを1回開催できる

※子どもワークショップまたは大人ワークショップ

寄付受付情報

### 子どもを暴力から守るための「CAPプログラム」開催事業

助成先：特定非営利活動法人おきなわCAPセンター

専用口座 沖縄銀行 鳥堀支店 普通 1394713  
琉球銀行 首里支店 普通 590065

郵便振替 01780-6-149204  
【通信欄への必記事項】CAPプログラム

Check!!

公益財団法人みらいファンド沖縄を通じてこの事業にいただいた寄付は、**税制優遇(寄附金控除/損金算入)の対象**となります

\*領収証の必要な方は、みらいファンド沖縄まであらかじめ「寄付申込み」を行い、領収証発行に必要な事項をお知らせください。

\*各寄付受付口座の名義はすべて「公益財団法人みらいファンド沖縄(代表理事 小阪直)」となります。



与那国島での講習会にて

講師派遣を通じて、離島の子どもたちの成長を支援

## 沖縄離島バドミントン基金

助成先：沖縄離島バドミントンスクール実行委員会

### 離島では野球やサッカーはできない

沖縄県内の離島や山間地の小中学校では、バドミントンが人気のスポーツ。それは、子どもの人数が少なく、野球やサッカーといった多人数を必要とするスポーツをするのは困難だからです。

スポーツ競技を通じて達成感や社会性を得ることによって、子どもたちに自信や豊かな心が育まれます。離島にも専門的な指導をしてくれる人がいれば、子どもたちの目標も高まるのですが、なかなかそういうわけにもいきません。

### じぶんにもできることがある

そんな状況を見て「自分にもできることがある」と思ったのは、那覇市出身の大見謝恒章さん。大見謝さんは、国体などにも出場した元選手で、離島出張の多いお仕事だった時、機会があれば、子どもたちの指導を行っていました。

そんなときに、みらいファンド沖縄が設立。ご縁あって、2010

年7月に第1号基金として設置以来3年が経過し、累積寄付額が100万円を超え、他の助成金なども活用しながら、35回の講習会を実施することができました。

### 子どもたちが自信を持って社会へはばたけるように

最初はひとりだったこの活動は、運営を実行委員会化し、県の中高校生や社会人のチャンピオン、沖縄銀行の社会人選手と一緒に離島訪問するようになりました。さらには、元オリンピック選手を招くなどして、離島はもちろん、沖縄全体でのレベルアップを支援する活動もはじめています。

この小さな基金も、みなさまからの寄付により、こんなに輪が広がってきました。島の子どものみならず、沖縄でバドミントンに取り組む子どもたちを支援するこの活動を、どうぞ引き続きご支援ください！

### 基金の創案者のことば

#### 大見謝恒章さん

中2からバドミントンを続ける会社員。全日本シニアベスト16(ダブルス)、沖縄県総合シングルス優勝、沖縄県混合ダブルス3連覇などの成績を持つ。

仕事で離島を訪れた際、ある中学校で講習会を開催したとき「能力の高い子は多いが、専門的な指導が出来ない」との話を聞き、この活動を始めました。多くの方から寄付をいただけて、たくさん講習会を開催することができました。ありがとうございました。これからも講習会を続けていきますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

### これまでの実績

2010年7月から、2013年3月までに、1,079,400円の寄付をいただき、こんなことができました！

- ・のべ35回の講習会を開催(内30回は離島)
- ・のべ88人の講師を派遣
- ・のべ1,414人の子どもが受講
- ・シャトルを3,120個寄贈



寄付目標金額

500,000円(毎年)

60,000円 で、近距離の離島に講師2名を派遣し、シャトルを120個寄贈できます  
180,000円 で、本土からスペシャル講師を招いての講習会ができます

寄付受付情報

#### 沖縄離島バドミントン基金

助成先：沖縄離島バドミントンスクール実行委員会

専用口座 沖縄銀行 鳥堀支店 普通 1379594  
琉球銀行 石嶺支店 普通 409710

郵便振替 17000-16202051

Check!!

公益財団法人みらいファンド沖縄を通じてこの事業にいただいた寄付は、**税制優遇(寄附金控除/損金算入)の対象**となります

\*領収証の必要な方は、みらいファンド沖縄まであらかじめ「寄付申込み」を行い、領収証発行に必要な事項をお知らせください。

\*各寄付受付口座の名義はすべて「公益財団法人みらいファンド沖縄(代表理事 小坂直)」となります。

## 寄付の流れ

# 応援したい活動はありましたか？

掲載している取組み・団体へ、みらいファンド沖縄を通じて寄付することができます。

### 1 寄付したい基金・事業を選ぶ

### 2 寄付を申し込む

領収証や事業報告を希望される方は、必要事項をみらいファンド沖縄へお知らせください。

#### 必要事項

お名前、ご住所（住民票記載の住所）、連絡先（お電話番号、E-mail）、寄付先に指定する基金・事業名、寄付を予定している金額

- \* ウェブサイトの「申込みフォーム」のご利用が便利です。
- \* FAX用シートを、ウェブサイトからダウンロードすることもできます。

**重要** 領収証が必要な方は、必ず「寄付申込み」を行ってください。

### 3 寄付する 寄付の入金方法は、右の方法からお選びいただけます。

### 4 基金・事業に助成金として届く

- 事業ごとに定めた時期／方法で、寄付先に助成金が届けられます。
- 助成金となるのは、いただいた寄付金の中から15%（銀行やクレジットカードの手数料と運営費）を除いた金額となります。

### 5 課題の解決に活かされる

みらいファンド沖縄ウェブサイトでは、寄付申込みやクレジットカード決済での寄付ができ、事業・団体の情報などが見られます。

<http://miraifund.org>

#### 銀行振込

##### 重要

基金ごとに寄付受付口座番号が異なります。口座番号は各ページでご確認ください。

- 振込手数料は、誠に申し訳ありませんが、振込する方でご負担ください。
- 寄付受付口座の名義はすべて、みらいファンド沖縄となっています。

#### 郵便振替

##### 重要

全基金・事業共通の振替口座となります。通信欄に必ず、基金・事業名を記入してください。

- 振込手数料は、誠に申し訳ありませんが、振込する方でご負担ください。

#### クレジットカード

システム提供：CANPANペイメントサービス

ウェブサイトから、クレジットカードで寄付をしていただけます。

ご利用いただけるクレジットカード



#### 現金

- 現金書留での寄付も受付いたします。その場合「寄付申込み」を同封いただくこともできます。
- 直接お持ちいただく場合は事前にご連絡をお願いいたします。

## みらいファンド沖縄への寄付のお願い

沖縄のNPOを「情報流通」と「資金循環」で支援する公益財団法人です。

みらいファンド沖縄は、沖縄のNPOの情報発信を促進することで、社会の“共感”を育み、市民社会を支える地域資源の循環をめざし、NPOを支援する「公

益財団法人」です。いただいた寄付は、みらいファンド沖縄の運営を支える費用や、新しい寄付と支援のしくみの開発などに充てさせていただきます。

#### 寄付受付情報

#### みらいファンド沖縄の運営の支援

##### 専用口座

沖縄銀行 首里支店 普通 1408641

##### 郵便振替

01780-6-149204  
【通信欄への必記事項】みらいファンド沖縄

沖縄の地域社会を支えるNPOがより活動しやすい環境を整える財団法人の運営を、どうぞご支援ください

## 寄付申込書

領収証や助成事業の報告を希望される方は、この用紙にご記入いただき、みらいファンド沖縄までFAX、メール、郵送でお送りください。\*印の項目は、必ずご記入ください。

領収証を希望される方は、住民票所在地の住所を必ずご記入ください。

領収証または報告の希望などを選択する項目は、該当箇所の□を■にしてください。

送り先    FAX   098-882-2400    e-mail   office@miraifund.org

フリガナ *		記入日
お名前 *		年    月    日
法人名・団体名		
領収証 *	<input type="checkbox"/> 希望する    → <input type="checkbox"/> 法人宛または団体宛    → <input type="checkbox"/> 個人宛	
住所 *	郵便番号	
	都道府県、市町村、番地	
	建物名以降	
メールアドレス *		
電話番号 *		

寄付先 *	当財団の基金・事業の名称をご記入ください
寄付金額 *	円
寄付方法 *	<input type="checkbox"/> 銀行へ振込 <input type="checkbox"/> 郵便振替 <input type="checkbox"/> 現金
寄付入金予定日	<input type="checkbox"/> 入金済み <input type="checkbox"/> 月    日頃入金予定
▲ 寄付受付口座は、基金ごとに口座番号が異なります。お振込の前に、必ず口座番号をお確かめください。	
寄付先への情報提供	▼寄付先団体からの事業報告が必要な方は「可」に印を付けてください。 <input type="checkbox"/> 可    (寄付先団体に個人情報を提供することに同意します) <input type="checkbox"/> 不可    (寄付先団体には匿名寄付者としてお伝えします)
その他 (通信欄)	

▲いただいた個人情報は、公益財団法人みらいファンド沖縄にて適切に管理し、寄付の手続き等の連絡業務と当財団からのお知らせや案内以外には一切使用いたしません。

寄付ナビ 2013 春

お問い合わせ 公益財団法人みらいファンド沖縄  
 TEL:098-884-1123 e-mail:office@miraifund.org  
 903-0824 那覇市首里池端町34 2F タイフーンfm内



公益財団法人

みらいファンド沖縄

903-0824

那覇市首里池端町 34 2F タイフーンfm 内

tel. 098-884-1123 fax. 098-882-2400

E-mail. [office@miraifund.org](mailto:office@miraifund.org)

営業時間 9:00 ~ 18:00 (土日祝を除く)